

1号機

- ・1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)循環冷却系は、一次系ポンプ(B系)及び計装品の定例点検に伴い、2月13日から3月5日頃まで、一次系ポンプの運転を停止予定。(2024年12月から実施している定例点検に関連する作業)
2月12日午前11時時点の1号機SFP水温度は18.5℃。冷却を3月5日まで停止した場合の1号機SFP水温度は31.1℃と評価しており、運転上の制限である60℃に到達しないことを確認している。
2月13日午前10時4分、SFP循環冷却系の運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は18.5℃。
・現在、1号機SFPで実施中の異材継手部の調査(2号機スキマサージ水位低下に関する 水平展開調査)について、配管の状況を確認するため、SFP一次系ポンプの停止を継続する。3月5日、午前11時時点のSFPの評価温度は30.6℃。
ポンプ停止中の1号機SFP冷却設備のプール水温度評価については、運転上の制限である60℃に到達しないことを確認している。
なお、1次系ポンプ(B系)および計装品の定例点検は終了しており、水平展開調査完了後、一次系ポンプ(B系)の運転を再開できる状態。
4月18日午前10時33分、水平展開調査が終了したことから、1次系ポンプ(A系)の運転を再開。
冷却再開後のSFP温度は38.6℃。運転状態について異常がないことを確認。
・1号機において、原子炉圧力容器温度を監視している温度計6台の内1台(TE-263-69H1)、および原子炉格納容器温度を監視している温度計11台の内1台(TE-1625D)については3月3日頃より指示値に緩やかな変動を確認した。
指示値の変動状況を監視していたところ、他の温度計の指示値と当該温度計2台の指示値の温度差が約10℃程度となったことから、当該温度計2台について、3月31日に点検を実施する。
なお、その他の原子炉圧力容器温度計および原子炉格納容器温度計、プラントパラメータに、有意な変動がないことを確認した。
3月31日に実施した点検、および当該温度計の指示値の推移を評価した結果、当該温度計については、監視計器として使用可能と判断した。
このことから、原子炉圧力容器温度を監視している温度計6台、原子炉格納容器温度を監視している温度計11台に変更はない。

2号機

- ・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、冬季の原子炉注水温度低下に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(1月29日の原子炉注水量変更予定:1.5 m³/h→1.3 m³/h)
1月29日午前11時46分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

- (1月29日の原子炉注水量変更:1.5 m³/h→1.3 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
引き続き、慎重に監視していく。
・2号機SFP循環冷却系の1次系ポンプ(A系・B系)は、点検計画に基づき取り替えを計画している。1次系ポンプ取り替えに伴い2月14日から2月27日頃まで、一次系ポンプの運転を計画的に停止予定。2号機のSFP停止期間中のSFP水温度上昇見込みは作業前日にお知らせする。
2月13日午前11時時点の2号機SFP水温度は17.5℃。冷却を2月27日まで停止した場合の2号機SFP水温度は30.5℃と評価しており、運転上の制限である65℃に到達しないことを確認している。
2月14日午後1時45分、一次系ポンプの運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は16.9℃。
A系ポンプの取り替えが完了したことから2月27日午後2時9分、一次系ポンプの運転を再開。冷却再開後のSFP水温度は28.8℃。運転状態について異常がないことを確認。(なお、B系ポンプの取り替えは後日計画しており、取り替え時の一次系ポンプ停止時には改めてお知らせする)
・2号機SFP循環冷却系については、系統内にある電動駆動弁の定例点検を行うため、3月25日午前10時～午前11時まで、計画的に停止する。3月24日午後3時現在の2号機SFP水温度は20.1℃。停止期間終了時点で約20.2℃と評価しており、運転上の制限である65℃には達しないと考えている。
3月25日午前10時4分、循環冷却系による冷却を停止。停止時のSFP水温度は20.4℃。その後、系統内にある電動駆動弁の定例点検が終了したことから、午後1時19分、循環冷却系を起動。冷却再開後のSFP水温度は20.4℃で落ち着いていることを確認。
・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、春季の原子炉注水温度上昇に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(3月28日の原子炉注水量変更予定:1.3 m³/h→1.5 m³/h)
引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。
3月28日午前10時10分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(3月28日の原子炉注水量変更:1.3 m³/h→1.5 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
引き続き、慎重に監視していく。
・2号機燃料デブリの試験的取り出し作業において、テレスコ式装置操作カメラ映像の視認性を向上させるため、4月16日以降、2号機の原子炉注水を一時的に停止する予定。
作業後、原子炉注水量を1.5m³/hに戻す。
(2号機の原子炉注水量変更予定:①1.5m³/h→②0m³/h→③1.5m³/h)
①原子炉注水一時停止前 ②原子炉注水一時停止時 ③原子炉注水再開後
4月17日午前6時5分、2号機燃料デブリの試験的取り出し作業に伴い、原子炉注水を一時停止し、午後0時6分に注水を再開した。
(4月17日の原子炉注水量変更実績:①1.5m³/h→②0m³/h→③1.5m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視していく。
・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、夏季の原子炉注水温度上昇に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。

(6月26日の原子炉注水量変更予定:1.5 m³/h→1.6 m³/h)
6月26日午前10時55分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(6月26日の原子炉注水量変更:1.5 m³/h→1.6 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
引き続き、関連パラメータを、慎重に監視していく。

3号機

現時点での特記事項なし

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

・5号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)冷却浄化系は、冷却用ポンプやろ過脱塩器の計装品交換作業に伴い、1月21日から4日間程度、冷却用ポンプを停止予定。
1月20日午後2時時点のSFP水温度は17.0℃。4日間の停止後、最高でも約29℃までの上昇にとどまると評価しており、運転上の制限である65℃に到達しないことを確認している。
1月21日午前10時35分、SFP冷却浄化系の運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は16.8℃。
予定していた作業が完了したことから、1月23日午後2時3分、冷却用ポンプの運転を再開。
冷却再開時のSFP水温度は23.7℃。運転状態について異常がないことを確認。

・5号機SFPは補機冷却海水系他の弁点検に伴い、SFPの冷却方法をSFP冷却浄化系から残留熱除去系非常時熱負荷モードに切り替える。
冷却方法切り替えのため3月26日午前10時～午後0時まで、SFP冷却を計画的に停止する。
3月25日午前5時現在の5号機SFP水温度は17.0℃。停止期間終了時点で約17.6℃と評価しており、運転上の制限である65℃には達しないと考えている。
3月26日午前11時00分、SFP冷却浄化系によるSFP冷却を停止した。冷却停止時のSFP水温度は17.2℃。
午後0時22分、残留熱除去系非常時熱負荷モードに切り替え、SFP冷却を再開。冷却再開時のSFP水温度は18.4℃。運転状態について異常がないことを確認。
5号機SFPは補機冷却海水系他の弁点検に伴い、3月26日からSFP冷却方法をSFP冷却浄化系から残留熱除去系非常時熱負荷モードに切り替えている。
補機冷却海水系他の弁点検終了に伴い、4月23日以降SFPの冷却方法を残留熱除去系非常時熱負荷モードからSFP冷却浄化系モードに切り替えを予定している。
冷却方法切り替え時はSFP冷却を計画的に停止する。冷却方法切り替えの実績は別途お知らせする。

4月23日午前10時53分、残留熱除去系非常時熱負荷モードによるSFP冷却を停止した。冷却停止時のSFP水温度は17.5℃。
午後4時4分、SFP冷却浄化系モードに切り替え、SFP冷却を再開。冷却再開時のSFP水温度は17.6℃。運転状態について異常がないことを確認。

6号機

・6月26日午後0時37分、6号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)冷却浄化系について、計装品の交換のため、冷却用ポンプの運転を計画的に停止。
冷却停止時のSFP水温度は16.4℃。停止期間は2週間程度の予定。
6号機SFPについては、プール内に保管していた使用済燃料の取り出しが完了しており、冷却を停止してもプール水温が大きく上昇することはないと考えている。
7月11日午後4時14分、6号機SFP冷却浄化系について、計装品の交換が完了したことから、冷却用ポンプを起動。冷却再開後のSFP水温度は21.9℃で落ち着いていることを確認。

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4, H6における水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

＜排水実績＞

- ・一時貯水タンクL 1月1日午前10時50分～午後3時8分。排水量638m³
- ・一時貯水タンクG 1月2日午前10時30分～午後2時32分。排水量602m³
- ・一時貯水タンクH 1月4日午前9時38分～午後0時24分。排水量409m³
- ・一時貯水タンクJ 1月6日午前10時8分～午後1時44分。排水量534m³
- ・一時貯水タンクK 1月8日午前11時14分～午後2時35分。排水量499m³
- ・一時貯水タンクL 1月10日午前10時33分～午後2時56分。排水量653m³
- ・一時貯水タンクG 1月12日午前10時10分～午後3時7分。排水量740m³
- ・一時貯水タンクH 1月14日午前10時18分～午後1時49分。排水量523m³
- ・一時貯水タンクJ 1月16日午前11時10分～午後2時37分。排水量513m³
- ・一時貯水タンクK 1月18日午前10時13分～午後0時55分。排水量401m³
- ・一時貯水タンクA 1月21日午前10時15分～午後1時55分。排水量547m³
- ・一時貯水タンクH 1月24日午後0時9分～午後4時4分。排水量583m³
- ・一時貯水タンクJ 1月26日午前9時49分～午後0時20分。排水量375m³
- ・一時貯水タンクK 1月29日午前10時26分～午後1時26分。排水量446m³
- ・一時貯水タンクB 2月1日午前11時11分～午後1時30分。排水量343m³
- ・一時貯水タンクC 2月4日午前10時29分～午前11時40分。排水量173m³
- ・一時貯水タンクG 2月6日午前10時21分～午後1時3分。排水量401m³
- ・一時貯水タンクF 2月8日午後1時00分～午後5時35分。排水量683m³
- ・一時貯水タンクD 2月12日午後0時3分～午後5時45分。排水量830m³
- ・一時貯水タンクL 2月14日午前10時28分～午後4時12分。排水量854m³
- ・一時貯水タンクH 2月17日午前10時34分～午後3時19分。排水量709m³
- ・一時貯水タンクJ 2月19日午前10時11分～午後2時31分。排水量644m³
- ・一時貯水タンクK 2月22日午前10時42分～午後3時2分。排水量646m³
- ・一時貯水タンクD 2月24日午前10時31分～午後1時24分。排水量429m³
- ・一時貯水タンクL 2月26日午前10時41分～午後1時19分。排水量392m³
- ・一時貯水タンクJ 2月28日午前10時30分～午後1時6分。排水量387m³
- ・一時貯水タンクH 3月3日午前10時25分～午後2時2分。排水量536m³
- ・一時貯水タンクK 3月6日午前10時47分～午後1時8分。排水量350m³
- ・一時貯水タンクA 3月8日午前10時35分～午後2時19分。排水量555m³
- ・一時貯水タンクB 3月11日午前10時15分～午後0時1分。排水量262m³
- ・一時貯水タンクC 3月13日午前10時54分～午後3時27分。排水量679m³
- ・一時貯水タンクH 3月14日午前10時26分～午後0時33分。排水量315m³
- ・一時貯水タンクD 3月15日午前11時45分～午後2時26分。排水量398m³
- ・一時貯水タンクA 3月18日午前10時33分～午後5時14分。排水量996m³
- ・一時貯水タンクG 3月19日午前10時29分～午後3時51分。排水量799m³
- ・一時貯水タンクB 3月21日午前10時35分～午後4時42分。排水量909m³

- ・一時貯水タンクJ 3月25日午前10時3分～午後3時40分。排水量839m³
- ・一時貯水タンクA 3月26日午前10時31分～午後4時56分。排水量958m³
- ・一時貯水タンクD 3月29日午前10時33分～午後4時39分。排水量908m³
- ・一時貯水タンクH 3月29日午前10時56分～午後2時51分。排水量584m³
- ・一時貯水タンクC 3月30日午後2時5分～午後4時49分。排水量406m³
- ・一時貯水タンクB 3月31日午前10時20分～午後1時7分。排水量411m³
- ・一時貯水タンクF 4月3日午後0時3分～午後4時58分。排水量732m³
- ・一時貯水タンクG 4月4日午前10時25分～午後4時41分。排水量935m³
- ・一時貯水タンクA 4月5日午前11時00分～午後2時1分。排水量449m³
- ・一時貯水タンクC 4月7日午前10時11分～午後2時59分。排水量718m³
- ・一時貯水タンクE 4月9日午前10時24分～午後2時58分。排水量681m³
- ・一時貯水タンクB 4月11日午前11時27分～午後3時37分。排水量622m³
- ・一時貯水タンクG 4月12日午前10時41分～午後5時32分。排水量1,021m³
- ・一時貯水タンクH 4月13日午前10時27分～午後3時55分。排水量815m³
- ・一時貯水タンクF 4月15日午前10時51分～午後5時35分。排水量1,006m³
- ・一時貯水タンクA 4月16日午前10時11分～午後4時58分。排水量1,010m³
- ・一時貯水タンクK 4月17日午後0時9分～午後5時33分。排水量806m³
- ・一時貯水タンクJ 4月18日午前10時21分～午後2時59分。排水量692m³
- ・一時貯水タンクB 4月20日午前10時41分～午後5時33分。排水量1,025m³
- ・一時貯水タンクC 4月22日午前10時37分～午後5時28分。排水量1,023m³
- ・一時貯水タンクD 4月24日午前10時22分～午後5時13分。排水量1,020m³
- ・一時貯水タンクA 4月25日午前10時26分～午後4時33分。排水量914m³
- ・一時貯水タンクF 4月27日午前10時4分～午後3時32分。排水量815m³
- ・一時貯水タンクE 4月29日午前10時25分～午後5時18分。排水量1,025m³
- ・一時貯水タンクB 4月30日午前10時21分～午後5時12分。排水量1,022m³
- ・一時貯水タンクC 5月2日午前10時20分～午後5時5分。排水量1,006m³
- ・一時貯水タンクD 5月4日午前10時20分～午後5時4分。排水量1,004m³
- ・一時貯水タンクF 5月6日午前9時30分～午後3時21分。排水量871m³
- ・一時貯水タンクE 5月10日午前10時35分～午後4時20分。排水量857m³
- ・一時貯水タンクG 5月11日午前10時20分～午後4時43分。排水量953m³
- ・一時貯水タンクH 5月13日午前10時16分～午後5時9分。排水量1,027m³
- ・一時貯水タンクF 5月15日午前11時31分～午後6時18分。排水量1,011m³
- ・一時貯水タンクD 5月17日午前10時30分～午後5時14分。排水量1,004m³
- ・一時貯水タンクB 5月18日午前10時5分～午後4時8分。排水量901m³
- ・一時貯水タンクE 5月19日午前11時18分～午後6時1分。排水量1,003m³
- ・一時貯水タンクG 5月21日午前10時9分～午後4時53分。排水量1,003m³
- ・一時貯水タンクH 5月23日午前10時29分～午後5時11分。排水量999m³
- ・一時貯水タンクC 5月24日午前11時7分～午後5時48分。排水量999m³
- ・一時貯水タンクF 5月25日午前9時58分～午後4時41分。排水量1,001m³
- ・一時貯水タンクD 5月27日午前10時23分～午後5時2分。排水量990m³
- ・一時貯水タンクE 5月29日午前10時9分～午後4時59分。排水量1,017m³

- ・一時貯水タンクG 5月31日午前11時7分～午後5時51分。排水量1,005m³
- ・一時貯水タンクH 6月2日午前10時29分～午後5時22分。排水量1,027m³
- ・一時貯水タンクF 6月5日午前10時13分～午後3時53分。排水量844m³
- ・一時貯水タンクD 6月6日午前11時2分～午後3時46分。排水量705m³
- ・一時貯水タンクB 6月7日午前11時2分～午後5時54分。排水量1,025m³
- ・一時貯水タンクC 6月8日午前10時56分～午後4時19分。排水量805m³
- ・一時貯水タンクE 6月10日午前10時13分～午後3時47分。排水量830m³
- ・一時貯水タンクG 6月11日午前11時22分～午後4時47分。排水量809m³
- ・一時貯水タンクA 6月12日午前10時15分～午後3時40分。排水量808m³
- ・一時貯水タンクH 6月13日午前10時23分～午後5時3分。排水量995m³
- ・一時貯水タンクF 6月14日午前10時51分～午後5時41分。排水量1,021m³
- ・一時貯水タンクJ 6月15日午前10時07分～午後4時20分。排水量929m³
- ・一時貯水タンクD 6月16日午前10時17分～午後4時54分。排水量987m³
- ・一時貯水タンクC 6月17日午前10時3分～午後4時34分。排水量971m³
- ・一時貯水タンクB 6月18日午前10時1分～午後4時18分。排水量938m³
- ・一時貯水タンクE 6月19日午前11時57分～午後4時40分。排水量701m³
- ・一時貯水タンクG 6月20日午前11時10分～午後3時19分。排水量619m³
- ・一時貯水タンクA 6月21日午前10時28分～午後3時04分。排水量686m³
- ・一時貯水タンクH 6月22日午前10時48分～午後3時15分。排水量663m³
- ・一時貯水タンクF 6月23日午前10時9分～午後2時25分。排水量637m³
- ・一時貯水タンクJ 6月24日午前10時7分～午後2時37分。排水量670m³
- ・一時貯水タンクD 6月25日午前10時3分～午後2時19分。排水量637m³
- ・一時貯水タンクC 6月26日午前10時20分～午後2時26分。排水量609m³
- ・一時貯水タンクB 6月27日午前11時2分～午後2時58分。排水量586m³
- ・一時貯水タンクE 6月28日午前10時42分～午後4時10分。排水量815m³
- ・一時貯水タンクG 6月29日午前10時8分～午後4時49分。排水量997m³
- ・一時貯水タンクH 7月1日午前10時32分～午後4時24分。排水量875m³
- ・一時貯水タンクF 7月3日午前11時16分～午後4時58分。排水量849m³
- ・一時貯水タンクD 7月4日午前10時22分～午後4時12分。排水量867m³
- ・一時貯水タンクC 7月5日午前10時44分～午後4時38分。排水量880m³
- ・一時貯水タンクG 7月8日午前10時24分～午後3時51分。排水量811m³
- ・一時貯水タンクE 7月9日午前10時20分～午後4時3分。排水量853m³
- ・一時貯水タンクH 7月10日午前11時23分～午後4時27分。排水量754m³
- ・一時貯水タンクF 7月11日午前10時12分～午後0時53分。排水量398m³
- ・一時貯水タンクD 7月13日午前10時54分～午後4時2分。排水量765m³
- ・一時貯水タンクC 7月15日午前11時24分～午後4時16分。排水量725m³
- ・一時貯水タンクJ 7月16日午前10時14分～午後3時34分。排水量792m³
- ・一時貯水タンクG 7月17日午前9時57分～午後4時47分。排水量1,020m³
- ・一時貯水タンクF 7月19日午前9時41分～午後3時25分。排水量855m³
- ・一時貯水タンクH 7月20日午前10時51分～午後4時9分。排水量790m³
- ・一時貯水タンクD 7月22日午前11時30分～午後4時44分。排水量782m³

- ・一時貯水タンクC 7月23日午前10時55分～午後4時14分。排水量791m³
- ・一時貯水タンクE 7月25日午前11時15分～午後5時20分。排水量909m³
- ・一時貯水タンクG 7月26日午前11時10分～午後5時12分。排水量898m³
- ・一時貯水タンクF 7月28日午前10時16分～午後3時33分。排水量785m³
- ・一時貯水タンクH 7月29日午前10時24分～午後2時47分。排水量651m³
- ・一時貯水タンクD 7月31日午前10時16分～午後3時2分。排水量711m³
- ・一時貯水タンクC 8月2日午前10時19分～午後3時2分。排水量702m³
- ・一時貯水タンクG 8月4日午前10時23分～午後2時47分。排水量655m³
- ・一時貯水タンクF 8月8日午前10時17分～午後4時01分。排水量855m³
- ・一時貯水タンクH 8月9日午前10時34分～午後3時09分。排水量684m³
- ・一時貯水タンクE 8月10日午前10時13分～午後2時55分。排水量699m³
- ・一時貯水タンクC 8月11日午前10時40分～午後3時58分。排水量789m³
- ・一時貯水タンクK 8月12日午前9時53分～午後3時11分。排水量790m³
- ・一時貯水タンクG 8月13日午前9時44分～午後3時8分。排水量804m³
- ・一時貯水タンクJ 8月15日午前9時52分～午後4時8分。排水量935m³
- ・一時貯水タンクF 8月16日午前10時43分～午後4時49分。排水量909m³
- ・一時貯水タンクH 8月17日午前10時8分～午後3時36分。排水量813m³
- ・一時貯水タンクC 8月19日午前11時40分～午後4時44分。排水量755m³
- ・一時貯水タンクE 8月20日午前10時17分～午後3時49分。排水量825m³
- ・一時貯水タンクG 8月22日午前10時24分～午後4時34分。排水量920m³
- ・一時貯水タンクJ 8月23日午前11時09分～午後5時13分。排水量904m³
- ・一時貯水タンクH 8月26日午前10時31分～午後4時2分。排水量823m³
- ・一時貯水タンクD 8月27日午前10時36分～午後3時14分。排水量688m³
- ・一時貯水タンクC 8月28日午前11時3分～午後3時45分。排水量701m³
- ・一時貯水タンクE 8月29日午前11時2分～午後3時51分。排水量718m³
- ・一時貯水タンクK 8月31日午前10時33分～午後3時46分。排水量777m³
- ・一時貯水タンクJ 9月1日午前10時23分～午後3時2分。排水量691m³
- ・一時貯水タンクH 9月3日午前10時21分～午後2時37分。排水量635m³
- ・一時貯水タンクF 9月4日午前11時23分～午後3時21分。排水量592m³
- ・一時貯水タンクC 9月6日午前11時03分～午後3時24分。排水量648m³
- ・一時貯水タンクE 9月7日午前10時14分～午後3時11分。排水量736m³
- ・一時貯水タンクA 9月9日午前10時28分～午後3時。排水量675m³
- ・一時貯水タンクB 9月10日午前10時9分～午後1時55分。排水量559m³

<特記事項>

※サブドレンー一時貯水タンク E の排水については、他のサブドレンー一時貯水タンク水位計に不具合が確認され、放出中に他のタンクの水位変動がないことを確認できないことから、7月7日に予定していた排水は7月8日以降に延期する。

サブドレンー一時貯水タンク E の排水延期については、不具合が起きていた他のサブドレンー一時貯水タンク水位計の交換が完了したことから、7月9日に排水を実施する。

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

＜排水実績＞

- ・一時貯留タンクグループ 2 1 月 3 日午前 10 時 19 分～1 月 3 日午後 4 時 3 分。排水量 1,582m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 1 月 9 日午前 10 時 20 分～1 月 9 日午後 3 時 47 分。排水量 1,499m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 1 月 16 日午前 10 時 1 分～1 月 16 日午後 3 時 23 分。排水量 1,476m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 1 月 23 日午前 10 時 21 分～1 月 23 日午後 3 時 10 分。排水量 1,339m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 1 月 31 日午前 10 時 16 分～1 月 31 日午後 2 時 57 分。排水量 1,289m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 2 月 7 日午前 10 時 12 分～2 月 7 日 午後 3 時 34 分。排水量 1,483m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 2 月 13 日午前 10 時 14 分～2 月 13 日午後 3 時 27 分。排水量 1,456m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 2 月 20 日午前 10 時 20 分～2 月 20 日午後 3 時 28 分。排水量 1,406m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 2 月 28 日午前 11 時 5 分～2 月 28 日午後 4 時 14 分。排水量 1,407m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 3 月 7 日午前 10 時 28 分～3 月 7 日午後 2 時 27 分。排水量 1,105m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 3 月 13 日午前 10 時 12 分～3 月 13 日午後 2 時。排水量 1,041m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 3 月 20 日午前 10 時 32 分～3 月 20 日午後 2 時 54 分。排水量 1,195m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 3 月 27 日午前 10 時 20 分～3 月 27 日午後 3 時 2 分。排水量 1,294m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 4 月 3 日午前 10 時 13 分～3 月 27 日午後 3 時 5 分。排水量 1,306m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 4 月 11 日午前 10 時 10 分～4 月 11 日午後 3 時 31 分。排水量 1,458m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 4 月 17 日午前 10 時 51 分～4 月 17 日午後 4 時 3 分。排水量 1,430m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 4 月 24 日午前 11 時 5 分～4 月 24 日午後 3 時 58 分。排水量 1,340m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 5 月 1 日午前 10 時 4 分～5 月 1 日午後 3 時 18 分。排水量 1,447m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 5 月 8 日午前 10 時 16 分～5 月 8 日午後 3 時 25 分。排水量 1,442m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 5 月 15 日午前 10 時 21 分～5 月 15 日午後 3 時 47 分。排水量 1,463m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 6 月 4 日午前 11 時 39 分～6 月 4 日午後 7 時 24 分。排水量 2,184m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 6 月 19 日午前 10 時 31 分～6 月 19 日午後 5 時 38 分。排水量 2,027m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 6 月 20 日午前 10 時 27 分～6 月 20 日午後 4 時 50 分。排水量 1,778m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 6 月 27 日午前 10 時 11 分～6 月 27 日午後 5 時 6 分。排水量 1,832m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 7 月 3 日午前 10 時 7 分～7 月 3 日午後 3 時 15 分。排水量 1,453m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 7 月 10 日午前 10 時 13 分～7 月 10 日午後 4 時 4 分。排水量 1,634m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 7 月 17 日午前 10 時 33 分～7 月 17 日午後 3 時 17 分。排水量 1,299m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 7 月 24 日午前 10 時 2 分～7 月 24 日午後 2 時 31 分。排水量 1,234m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 7 月 31 日午前 10 時 48 分～7 月 31 日午後 3 時 12 分。排水量 1,202m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 8 月 8 日午前 10 時 50 分～8 月 8 日午後 3 時 22 分。排水量 1,253m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 8 月 14 日午前 9 時 55 分～8 月 14 日午後 3 時 38 分。排水量 1,625m³
- ・一時貯留タンクグループ 3 8 月 21 日午前 10 時 14 分～8 月 21 日午後 4 時 13 分。排水量 1,673m³
- ・一時貯留タンクグループ 1 8 月 28 日午前 10 時 19 分～8 月 28 日午後 4 時 6 分。排水量 1,619m³
- ・一時貯留タンクグループ 2 9 月 4 日午前 10 時 6 分～9 月 4 日午後 3 時 43 分。排水量 1,580m³

＜特記事項＞

現時点での特記事項なし

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

＜特記事項＞

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

＜特記事項＞

現時点での特記事項無し

ALPS 処理水測定・確認用タンク

以下、放出実績のみ記載。

＜放出実績＞

・ALPS 処理水測定確認用タンクC群

3 月 12 日午後 1 時 25 分～3 月 30 日午前 11 時 51 分 7,859m³

・ALPS 処理水測定確認用タンクA群

4 月 10 日午前 11 時 32 分～4 月 28 日午前 11 時 50 分 7,853m³

・ALPS 処理水測定確認用タンクC群

7 月 14 日午前 11 時 33 分～8 月 3 日午後 0 時 22 分 7,873m³

・ALPS 処理水測定確認用タンクA群

8 月 7 日午前 11 時 19 分～8 月 25 日午後 0 時 1 分 7,908m³

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【増設雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【窒素封入設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

・2 月 3 日午後 2 時頃、定検用機材倉庫 B 棟(横置タンク解体作業場)の集じん機から発火したことを協力企業作業員が発見した。

状況は以下のとおり。

・発生状況:初期消火を行い、現在、火のないことを確認した

・けが人の有無:なし

・モニタリングポスト指示値:有意な変動なし

・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし

- ・構内線量表示器指示値:有意な変動なし
- ・プラント設備への影響:なし
- ・双葉消防本部への連絡時刻:午後2時45分(119番通報)

詳しい状況が分かり次第お知らせする。

なお、現在解体作業中の横置タンクについては、未使用品であり、汚染はしていない。

・本事案については午後4時31分、公設消防より「火災」と判断された。

・6月10日午前9時50分、使用済燃料共用プールライナドレン流量高の警報が発生。

午前10時3分、現場を確認したところ、ライナドレン配管2か所から各々鉛筆芯1本分の液体が流れていることを確認した。

正午時点では、2カ所のライナドレン配管からの液体の流れは、一方は2秒間に1滴、もう一方は1秒間に2滴に減少した。

本日共用プールにおいては、使用済燃料共用プールからキャスクの吊り上げ作業を実施していた。

キャスク上部に残存した共用プール水についてホースを用いて共用プールへ戻す作業中に、その一部が使用済燃料共用プール周辺の側溝に流れ込んでいることを確認した。

当該水がライナドレン配管に流入した可能性を含め継続して調査していく。

共用プールの水位については警報発生以降、有意な変動は確認されていないが、引き続き水位を慎重に監視していく。

なお、ライナドレン配管を流れた液体については、系統外に流れ出るものではなく、周辺環境への影響はない。また、本件に伴う作業員の身体汚染等も確認されていない。

使用済燃料共用プールライナドレン流量高警報の原因としては、滴下量の低下傾向から、使用済燃料共用プールからキャスクつり上げ作業により発生した水が、ライナドレン配管に流入したものと判断した。

そのため、使用済燃料共用プールからライナドレン配管への流入はないと判断し、ライナドレン配管内に溜まった水を移送し、6月10日午後4時40分に警報を解除した。

引き続き水位を慎重に監視していく。

・6月11日午前9時13分、3号機原子炉格納容器ガス管理設備(以下「PCVガス管理設備」という)A系においてサンプリングポンプが停止していることを確認した。

これに伴い、A系での希ガスモニタ等の監視ができない状態と判断した。

現場設備の状況を確認している。

B系についてはサンプリングポンプは正常に動作しており、PCVガス管理設備の希ガスモニタ等の指示値に異常はなく、プラントデータ監視に支障はないこと、およびプラントパラメータ、モニタリングポスト指示値に有意な変動はないことを確認している。

現場調査の結果、当該設備の電源である4号機タービン建屋2階の所内共通電源盤(4C)のケーブル端子台付近に溶損跡を発見した。なお、発煙等は確認されていない。

状況は以下のとおり。

- ・発見時刻 :午後5時50分頃
- ・発生場所 :4号機タービン建屋2階
- ・発見者 :当社社員
- ・プラント設備への影響 :なし

・双葉消防本部への連絡時刻:午後6時1分

午後6時38分、公設消防により「非火災」と判断された。

・7月21日午後7時40分頃、陸側遮水壁ブライン供給ポンプ全台が停止し、凍結管へのブライン供給ができない状況となっていることを当社社員が確認したが、7月22日午前0時29分、異常のないことが確認できたことから、当該ポンプを起動し、凍結管へのブライン供給を再開した。サブドレン水位および建屋滞留水水位に有意な変動は確認されていない。当該ポンプが停止した原因は、当社管内の基幹系統からの影響により、同時刻に所内電源の電圧が瞬時変動したことによるものと判断した。

なお、当時、福島県浜通り地方に雷注意報が発令されていた。

・7月21日午後7時55分頃、使用済燃料共用プール冷却設備の2次系冷却ファンが停止していることを当社社員が確認したが、午後10時6分、異常のないことが確認できたことから、当該ファンを起動し、使用済燃料共用プールの冷却を再開した。冷却再開時の使用済燃料共用プール水温度は33.7℃。(冷却停止時のプール水温度は33.3℃)

当該ファンが停止した原因は、当社管内の基幹系統からの影響により、同時刻に所内電源の電圧が瞬時変動したことによるものと判断した。

なお、当時、福島県浜通り地方に雷注意報が発令されていた。

・8月20日午前3時54分頃、1号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいて、核種分析装置B系の機器異常警報が発生したことから、関連パラメータを確認したところ、ドライウェル圧力、原子炉格納容器ガス管理システム排気流量、水素濃度、ダスト指示等に変化がないことを確認したが、希ガスモニタB系の指示値がダウンスケールしていることから、午前4時00分に希ガスモニタB系の監視が出来ない状態と判断した。

なお、希ガスモニタA系については、異常はなく希ガスの監視について支障がないことを確認している。

その後、B系の調査を実施した結果、核種分析装置の検出器が故障していることから、当該検出器の交換を実施した。B系の希ガスモニタ等の指示値に異常がないことを確認したことから、8月21日午後3時00分、監視可能な状態に復帰したものと判断した。

・8月24日午前0時33分頃、1号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいて、核種分析装置B系の機器異常警報が発生したことから、関連パラメータを確認したところ、ドライウェル圧力、原子炉格納容器ガス管理システム排気流量、水素濃度、ダスト指示等に変化がないことを確認したが、希ガスモニタB系の指示値がダウンスケールしていることから、午前0時40分に希ガスモニタB系の監視が出来ない状態と判断した。

なお、希ガスモニタA系については、異常はなく希ガスの監視について支障がないことを確認している。

PCVガス管理設備希ガスモニタB系の調査を実施した結果、希ガスモニタB系のマルチチャンネルアナライザー(以下、「DMCA」という。)の表示部に異常値を確認したことから、当該DMCAの交換を実施しました。

その後、PCVガス管理設備希ガスモニタB系の指示値に異常がないことを確認したことから、8月

24 日午後 6 時 00 分、監視可能な状態に復帰したものと判断した。
なお、PCV ガス管理設備希ガスモニタ A 系は正常に監視を継続している。

【けが人・体調不良者等】

・3 月 7 日午前 10 時 40 分頃、構内物揚場において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後 0 時 2 分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
 - ・身体汚染の有無: なし
 - ・発生状況 : クレーン組立作業中に、右手薬指を負傷
- 当該負傷者は、救急車で搬送先の医療機関に到着
- ・救急車出発時刻: 午後 0 時 30 分
 - ・救急車到着時刻: 午後 0 時 42 分

・4 月 24 日午前 8 時 5 分頃、発電所構内において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前 8 時 33 分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : 作業中に資材に挟まれ負傷

なお、負傷した作業員に意識があることを確認している。

当該負傷者は、救急車で搬送先の医療機関に到着

- ・救急車出発時刻: 午前 9 時 2 分
- ・救急車到着時刻: 午前 9 時 16 分

また、発生状況の確認を行ったところ、当該作業員は後退してきた車両と接触し、転倒したことを確認した。

当該負傷者については、搬送先の医療機関での医師の診察の結果、腰部打撲症と診断された。

・7 月 18 日午前 9 時 40 分頃、新事務本館において協力企業作業員が清掃作業中に転倒し痛みを訴えたことから、入退域管理棟救急医療室を受診、肋骨骨折の疑いがあると診断されました。その後、医療機関を受診し、左第 10 肋骨骨折と診断されたことから、以下の通りお知らせします。状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・発生場所 : 新事務本館 1 階
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : 新事務本館 1 階において清掃作業中に転倒し左脇腹を負傷した。本人が痛みを訴えたことから入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要はな

いものの肋骨骨折の疑いがあると診断された。その後、医療機関を受診したところ、左第 10 肋骨骨折と診断された。

なお、負傷した作業員に意識があることを確認している。

当該負傷者は業務車で医療機関に到着

当該負傷者については、診察先の医療機関での医師の診察の結果、左第 10 肋骨骨折と診断された。

・7 月 18 日午後 3 時 5 分頃、発電所構内において、体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後 3 時 42 分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・体調不良者の所属 : 協力企業作業員
- ・発生場所 : 入退域管理棟(管理対象区域外)
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : 作業中、体調不良を訴えた。

なお、当該の作業員については意識があることを確認している。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着

- ・救急車出発時刻: 午後 4 時 11 分
- ・救急車到着時刻: 午後 4 時 26 分

また、発生の状況の確認を行ったところ、当該作業員は入退域管理棟にてカメラの貸し出し業務に従事中、体調不良を訴えたことを確認した。

当該体調不良者については、搬送先の医療機関での医師の診察の結果、個人の疾病と判断された。なお、病名等は控える。

・8 月 21 日午前 4 時 45 分頃、構内企業センター A 棟休憩所において、体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前 6 時 4 分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 : 午前 4 時 45 分頃
 - ・発生場所 : 発電所構内企業センター A 棟休憩所
 - ・体調不良者の所属: 協力企業作業員
 - ・身体汚染の有無 : なし
 - ・発生状況 : 作業終了後に体調不良を訴えた。
- 当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着
- ・救急車出発時刻 : 午前 6 時 33 分
 - ・救急車到着時刻 : 午前 6 時 47 分

当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、熱中症と判断された。

なお、当該体調不良者は症状が改善したため、8 月 21 日に帰宅している。

・8 月 25 日午前 7 時 42 分頃、発電所構内土砂置場付近において、体調不良者が発生し、緊急搬送の必要があると判断されたため、午前 8 時 3 分救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 :午前7時42分頃
- ・発生場所 :発電所構内土砂置場付近
- ・体調不良者の所属:協力企業作業員
- ・身体汚染の有無 :なし
- ・発生状況 :作業中、体調不良を訴えた。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着

- ・救急車出発時刻 :午前8時35分
- ・救急車到着時刻 :午前8時50分

当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、個人の疾病(作業に起因するものではない)と判断された。

なお、個人の疾病であることから病名等については控える。

- ・8月29日、発電所構外駐車場において、体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後0時4分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 :午前11時40分頃
- ・発生場所 :発電所構外駐車場
- ・体調不良者の所属:協力企業作業員
- ・身体汚染の有無 :なし
- ・発生状況 :発電所構外駐車場で体調不良者が発生した。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着

- ・救急車出発時刻 :午後0時40分
- ・救急車到着時刻 :午後0時55分

当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、個人の疾病(作業に起因するものではない)と判断されている。

なお、個人の疾病であることから病名等については控える。

- ・9月3日、免震重要棟付近において、体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師により緊急搬送の必要があると診断されたため、午前10時35分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 :午前10時22分頃
- ・発生場所 :免震重要棟付近
- ・体調不良者の所属:協力企業作業員
- ・身体汚染の有無 :なし
- ・発生状況 :作業終了後に免震重要棟へ移動中、体調不良(意識無し)となった。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着

- ・救急車出発時刻 :午前11時2分
- ・救急車到着時刻 :午前11時15分

当該作業員については、搬送先の医療機関にて、死亡が確認された。

【その他】

- ・2022年6月14日、協力企業作業員が協力企業棟食堂のコンテナ搬出入室において、トラックへの荷積みのため移動した際に転倒して足首を負傷しました。

＜発生時の状況＞

- ・発生時刻 2022年6月14日 午後2時頃
- ・発生場所 発電所構外 協力企業棟食堂コンテナ搬出入室
- ・負傷者 協力企業作業員
- ・身体汚染 無し
- ・発生状況

食器等の回収トラックへの荷積みのため、コンテナ搬出入室のドアを開けようと可動式スロープを跨いで移動した際に、躓き転倒して足首を負傷した。

- ・なお、事案発生当時、本件について協力企業から当社への報告はなく、2024年10月24日に元請け企業を通じて当社へ報告があり、本日福島労働局から休業4日以上労働災害について、遅滞なく労働者死傷病報告書を所轄労働基準監督署長へ提出しなかった疑いについて公表され、お伝えできる状況となったことからお知らせするものです。

- ・地下水(1～4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1～4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析結果について、一部のデータ(護岸地下水観測孔 分析結果(1/2)護岸地下水 地下水観測孔No.1-14 Cs-137)が、至近の分析結果と比較して上昇している。なお、海側遮水壁の外側の海水分析結果に有意な変動は見られてない。